



## AIMSプログラムについて

(ASEAN International Mobility for Students Programme)

### ●AIMSの概要

- 名 称 : AIMS (ASEAN International Mobility for Students Programme)  
(旧名称 : Malaysia-Indonesia-Thailand (M-I-T) Student Mobility Programme)
- 経 緯 : 2010年に開始した、マレーシア・インドネシア・タイの各国政府共同による学生交流支援事業。2015年までの「ASEAN共同体」に資する学生交流メカニズムの開発、国にとどまらず国際的な視野をもった大学の育成・人材の輩出を目的とする。2012年に、4番目の参加国としてベトナムが加わり、「AIMS」に名称変更。さらに、2013年には、フィリピンおよびブルネイが加わり、日本も参加することとなった。
- 参 加 国<sup>1</sup> : マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、ブルネイ、日本
- 交流分野 : 学部学生を対象とし、2011年に交流分野として5分野を指定。  
(Hospitality and Tourism、Agriculture、Language and Culture、International Business、Food Science and Technology)。  
なお各国は、将来的に交流分野を拡大することで合意しており、2013年に2分野(Engineering、Economics)を加え、交流分野は7分野に拡大した。
- 交流形態 : 単位互換および認定を伴う交流
- 財政支援 : 互惠性の原則に基づき、各国は年間25名の学生に対して財政支援を行い、派遣・受入のバランスをとるよう努める。
- 言 語 : 原則英語
- 単位互換 : プログラムを通じて得た単位の互換は、UMAP<sup>2</sup>の単位互換方式(UCTS<sup>3</sup>)を推奨。また、単位互換プロセスの円滑化のため、学修計画書や成績証明書の様式を提示。

### ●AIMSの特徴

#### ○国際連携オフィスの設置

- ・ プログラムの効果的な運営や相手大学との円滑な連絡調整のため、各大学は国際連携オフィス(IRO: International Relations Office)を設置。

<sup>1</sup> 参加大学の情報については、日本学術振興会ウェブサイト「平成25年度大学の世界展開力強化事業」公募・申請関係資料の「AIMSリスト掲載大学」を参照のこと。なお、フィリピンの参加大学については、平成25年6月13日現在で「未確定、確定次第更新予定」となっている。

[http://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/data/download/11\\_tenkaih25\\_aimslist\\_130613ver.pdf](http://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/data/download/11_tenkaih25_aimslist_130613ver.pdf)

<sup>2</sup> University Mobility in Asia and the Pacific(アジア太平洋大学交流機構)の略。UMAPの情報については、文部科学省ウェブサイト「UMAP(アジア太平洋大学交流機構)」を参照のこと。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-8.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-8.htm)

<sup>3</sup> UMAP Credit Transfer Scheme(UMAP単位互換方式)の略。UCTSの情報については、UMAP同様上記ウェブサイト参照のこと。

## ○レビューミーティング

- ・ プログラムの現状把握や現実的な課題について検討するため、レビューミーティングを

定期開催（年２回）。各国の政策担当者、評価者、プログラム参加校が出席。

### ＜開催実績＞

- 第１回： ２０１１年１月（於：タイ・バンコク）
- 第２回： ２０１１年９月（於：インドネシア・バリ）
- 第３回： ２０１２年３月（於：マレーシア・ペナン）
- 第４回： ２０１２年１１月（於：ベトナム・フエ）
- 第５回： ２０１３年３月（於：インドネシア・ジョグジャカルタ）

## ○プログラムの拡大方針

- ・ ２００９年に掲げた当プログラムの数値目標は次のとおり。
  - ２０１１年までに「交流学生数１５０名、参加国数 ３か国、交流分野 ５分野」
  - ２０１３年までに「交流学生数３００名、参加国数 ５か国、交流分野 ７分野」
  - ２０１５年までに「交流学生数５００名、参加国数１０か国、交流分野１０分野」
- ・ 交流学生数は、２０１１年９月時点で３００名を超え、２０１３年までの目標値に到達。
- ・ 参加国については、２０１３年６月時点で、７か国（マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、ブルネイ、日本）が参加している。

## ○「AIMS」ハンドブック

- ・ AIMSの実施機関であるRIHEDは、２０１２年６月にAIMSに関する公式ハンドブック「ASEAN International Mobility for Students (AIMS) Programme Operational Handbook」を作成している<sup>4</sup>。新規の参加国や大学に向けて、参加準備に必要なステップ（対派遣大学・受入大学・学生）や、大学に向けたプロトコル（留意点）を掲載。

## ○質保証のプロジェクト－「iAward」<sup>5</sup>

- ・ 東南アジアの大学における国際化を推進するためのプロジェクト。MIT学生交流プログラム（AIMSの旧名称）の時代に発足。参加プログラムに対するアセスメントを実施し、優秀事例を表彰する。

### 【出典】

*The 3rd Malaysia-Indonesia-Thailand (M-I-T) Student Mobility Programme Review Meeting*, 2012 年 3 月  
<http://www.rihed.seameo.org/mambo/2011/MITppt.pdf>

*The 2nd Malaysia-Indonesia-Thailand (M-I-T) Student Mobility Programme Review Meeting*, 2011 年 9 月  
<http://www.rihed.seameo.org/mambo/2011/overview.pdf>

<sup>4</sup> 同ハンドブックは、日本学術振興会ウェブサイト「平成25年度大学の世界展開力強化事業」公募・申請関係資料の「AIMS プログラム運用ハンドブック」(2012 年6月作成)を参照のこと。  
[http://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/data/download/06\\_tenkaih25\\_aimshb\\_130613ver.pdf](http://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/data/download/06_tenkaih25_aimshb_130613ver.pdf)

<sup>5</sup> 「iAward」の概要は、当機構がまとめた資料(下記ページに掲載)を参照のこと。  
[http://www.niad.ac.jp/n\\_kokusai/info/iaward/](http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/info/iaward/)